

增補
和解

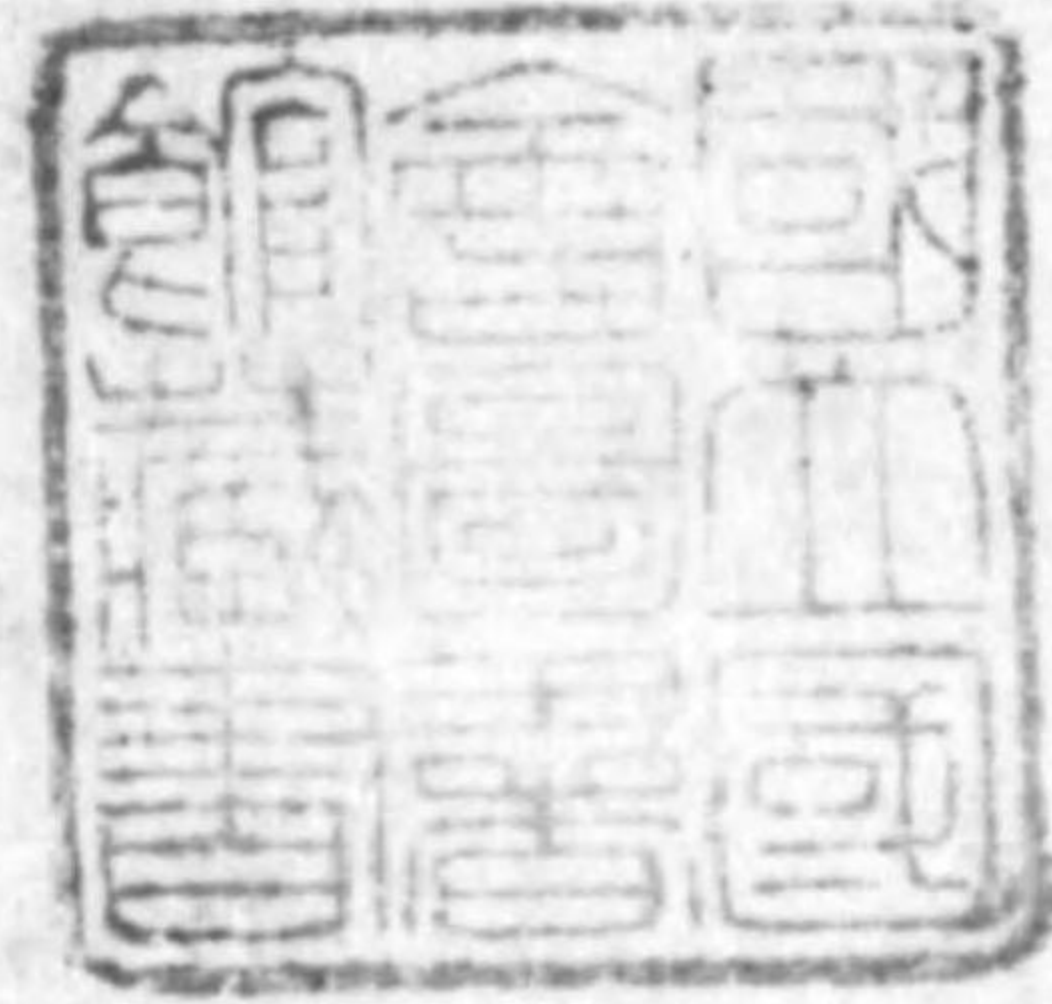
西洋事情

卷下

290.

H826.22

K



338419

西洋事情卷之三

英國

國史

福澤諭吉

纂輯

黒田行次郎

校正

羅馬人初テ英國ニ渡来スルマテハ此國ニセルチ

ク及ヒゴシクト云ヘルニ個ノ大家族有テ國民之

ニ服從セシト云フ羅馬ノセサル帝英國ニ来リシ

ハ紀元前五十五年ノ一ニテ其後九十年ノ間ハ羅

馬ノ害ヲ蒙ルナク紀元後四十三年羅馬ノコロ

ヂヌス帝師起シテ英國ヲ征シ四十年ノ間ニ全ク其

土地ヲ押領シタリ。
 羅馬人此國ヲ押領セシヨリ諸學術ヲ傳ヘ文明ノ
 道ヲ開キ國內ニ三十三都府ヲ設ケ各所ニ軍兵ヲ
 屯シ街道ヲ作テ諸府及ヒ屯所ノ間ニ往來ノ便ヲ
 為シ都府ノ外草昧ノ地モ爾後ニ百年ノ間ニ漸ク
 之ヲ開拓シタリ此時ニ當テ羅馬ノ武威次第ニ衰
 微シテ全國獨立ノ姿トハナリタレ凡國內互ニ爭
 鬪シテ人民ノ苦難ハ却テ羅馬ノ時ヨリモ甚シト
 云フ但シ此時代ノ正史ハ後世ニ傳ハラスレテ事
 情ヲ詳ニシ難シ紀元四五百年ノ間ニ日耳曼ノ北

方ニサクソント云ヘル人種アリテ英國ニ渡來シ
 次第ニ之ヲ押領シタリ此人種ヲアングロサクソ
 ント稱セリアングロサクソントハ英國
 アングロサクソニテハ國人ノ爵位ヲ數等ニ分
 テ諸王ハ自カラ天ノ後胤ト稱レ位ヲ血統ニ傳レ
 凡相續ノ定律ナレ第二等ハ「爵名」ト稱シ今ノ諸
 侯ノ如シ第三等ハ「爵名」ト稱シ第一等ノ支配ヲ
 受ク第一等ト第二等トノ爵位ノ差ハ同盟シテ事
 ヲ謀ル片第二等ノ者五人ノ同説ヲ以テ第一等ノ
 者一人ノ説ニ對スヘク又或ハ國法ヲ以テ刑罰ニ

行ハル、キモ第二等ノ者五人ノ命ヲ以テ第一等ノ者一人ノ命ニ當ルヘシ諸侯以下數等ノ階級アリテ最下等ナルモノハ奴隸ナリ

アングロサクソンノ支配ノ間、英國ノ地ヲ分ツ法ハ第一ヲ諸侯ノ領地ト為シ其以下ハ百戸ニ分チ又十戸ニ分チ各共主長ヲ立テ領地ニ裁判所ヲ設ケテ政ヲ施シ且其領地ニテ小吏ノ為セルトハ善惡トモ領主ヲシテ其責ニ任セシム又此時ニハ賢明智識ノ集會ナルモノ有テ國民ノ為政府ニ對シテ愁訴數願スルニハ却テ官途ニ參ル評議官ヨリ

モ權威アリ案スルニ諸侯及ヒ僧官ノ貴キ者ハ此集會ニ加ハリ又國內ノ諸方ヨリモ名代人ヲ送タルヲナルヘレ國王ハ此集會ノ助ヲ以テ法律ヲ施ス一雖王位相續ノトハ國王ノ意ヲ以テ獨斷スルナリ○耶穌教ノ英國ニ入タルハ紀元後百年ノトナリシカ羅馬滅亡ノ後國內混亂レテ此教法全ク中絶シタリ紀元六百年代ノ始ニ至テ再ヒ之ヲ起レ次第ニ開化ニ赴キ以テ今日ニ至レリ

アングロサクソンノ内
ソスセキスノ君
エルラナ
ルモノ諸酋長ト戰ヒ大ニ勝利ヲ得テ一時之ヲ威

服レ紀元四百九十一年ノ頃自カラブレトワルダ
 ト稱セリ「ブレトツルダ」ハ不列顛○「アングロ、サ
 ソン」英國ニ渡来レテ多年ノ間諸方ヲ征服スルキ
 ニ當テ此人種諸處ニ割據シ各獨立ノ勢ヲナセリ
 其獨立國ノ大ナルモノハ「ウエフセキス」「ソスセキス」
 國名
 「ケント」「エスヒキス」「テイラ」「イーストアレダリヤ」
 同
 「スラムベルランド」是レナリ此七國或ハ興リ或
 ハ衰ヘ互ニ相并吞シテ「ブレト」ヲ元ノ位ヲ傳ヘ
 リ之ヲ七國ノ世ト名ツク紀元八百三十年ニ至テ
 國名
 「ウエスセキス」ノ君「エグベルト」ナルモノ遂ニ此位ヲ

得リ世人之ヲ英國一統ノ始祖ト稱ス
 「エグベルト」位ニ即ク片「噠國」人初テ入寇セリ是レ
 ヨリ百五十年ノ間屢噠國人ニ侵サレテ國內文明
 ノ進歩モ之カクノ中絶セリ且「アングロ、サクソン」
 ノ君ハ國民ト一和シテ防禦ノ策ヲ設ケス却テ内
 乱ニ時日ヲ費シ噠國ノ大敵侵入スレハ僅ニ薄弱
 ノ兵ヲ出シテ防禦セシムルノミ其後「サクソン」王
 「アゼルスタン」及ヒ「エドモント」ノ世ニ至リ專テ外
 敵ヲ防キ内亂ヲ鎮静スルノ策略ヲ施シタレ片「噠
 人」ノ勢益盛テシテ全英國ヲ掠亂シ「ホムブル河北」

ノ地ニ割據シテ其近傍ニ多ク噍人ノ種族ヲ遺シ
 タリ紀元一千零十七年噍人盡ク英國ヲ押領シタ
 レ氏二十四年ヲ經テ一千零四十一年ニ至リアン
 グロサクソンノ君エドワルト之ヲ恢復シテ國位
 ニ即キタリ然レ氏エドワルトノ在位ハ唯名義ノ
 ミニテ英國ノ土地ハ其時ノ六大諸侯及ヒ噍人英
 人ノ酋長ニ分與レテ國王ハ唯空位ヲ守レリ一千
 零六十六年エドワルト王死シテ子ナレ初ノ王ノ
 在位中ニウエスセキス侯ハロルド竊ニ謀反ヲ企テ
 リ王之ヲ察シテ死ニ臨ミ遺言シテ王ノ親族ノル

マング候井ルレムヲ立テ、嗣子ト爲シタリシカ
 王ノ死スルニ及テハロルド果シテ王位ヲ篡テ自
 立セリ井ルレム乃チノルマンチガ蘭西ノ舊地ナリ
 ヨリ大兵ヲ擧テ英國ヲ攻メ一千零六十六年ハス
 チンダスノ決戦ニテ大ニ英ノ師ヲ敗リハロルド
 ヲ殺シテ英國王ノ位ニ即ケリ之ヲノルマンレノ一
 統ト稱シアングロソクサンレノ家系ハエドワルト
 ニテ絶タリ
 ノルマンレノ一統ハ英國歴史中ノ一大變革ナリ一
 統ノ後法律ヲ改メテ王室ノ所領ヲ除クノ外ハ國

内ノ土地ヲ有功ノ武臣六萬人ニ分與シテ世祿ト
 爲セリ但シ世祿ノ法ハ「サクソシ」ノ世ト異ナルト
 ナシ右ノ如ク配分シテ英國ノ地過半ハ「ホルマン
 ノ武臣ノ采地ト爲リタレ」氏尚ヲ「サクソシ」人及ヒ
 噲人ノ酋長ニテ土地ヲ押領セルモノ多シ此酋長
 等ハ或ハ政府ノ法令ヲ憚ラスシテ私ニ其土地ヲ
 保ツモノアリ或ハ政府ニ臣服シ政府ノ免許ヲ得
 テ之ヲ保ツ者アリ○「井ルレム」在位ノ終ニ於テハ
 英國ノ人口凡ソ二百萬アリ此時ニ當テ國內北方ノ
 地ハ多ク荒廢シ且「サクソシ」ノ世「エドワルト」王ノ

キヨリ「ホルマン」一統ノ兵乱ニ由テ諸州ノ人民過
 半ヲ失ヒタル「ハ」諸書ニ記載セリ之ニ由テ考フ
 レハ「井ルレム」王一代ノ間ニ凡ソ三百萬ノ人口ヲ減
 少シタルヘシ
 我應徳元年
 一千零八十四年「井ルレム」死スルキ其次子第二世

「ロフス」井ルレムニ英國ヲ與ヘ長子「ロベルト」ハ「ノ
 ルマン」ガニ遺シ置キタルハ之ニ其本國ヲ與ヘ第
 三子「ヘヌリ」ニハ母ノ遺物ヲ與ヘタリ第二世「井ル
 レム」在位ノ間ハ記スヘキ大事件ナシ
 我康和元年
 一千百年遊
 獵ノ時流矢ニ中テ死ス是ニ於テ英國ノ王位ハ其

兄ロベルトニ傳フヘキ理ナレバ此時「ロベルト」ハ
 遇タケ「バレスタイ」ニ亞細亞別ニ出師シテ「ノルマン」ヂ
 ニ在ラサルニ由リ弟ヘヌリ間ニ乘シテ英國王ノ
 位ニ即ク「」ヲ得タリ之ヲ第一世ヘヌリトスヘス
 「」位ニ即テヨリ元トノ「サクソン」王「エドガル」ノ姪
 女「マチリ」ヂヲ娶テ「サクソン」家ヲ同一ノ系統ニ并
 セリ○其後ヘヌリハ師ヲ起シ兄ノ所領「ノルマン」シ
 「」ヲ攻メ「ロベルト」ノ歸路ヲ要シ迎ヘ戰テ遂ニ之
 ヲ禽ニシ終身獄屋ニ幽閉セリ然レバヘヌリ王ノ
 「ノルマン」チヨリカイデン凱陣ノ片海上ニテ唯一人ノ男子カチ溺

死ニタルハ兄ニ敵對セシ罪科ノ報ヒト云フヘシ
 我長承三年
 一千百三十五年第一世ヘヌリ死シ其姪「マチル」ヂ
 「」立ツ初ノ第一世ヘヌリノ女子「マチル」ヂ「ア」ニ
 「」ノ君「」テ「」ニ嫁シテ一子ヲ生ミ之
 「」第二世ヘヌリト名ツクス「」在位ノ間國
 民ヘヌリニ望ヲ歸シ之ヲ立テ、國王トセシト欲
 スル者多シ且第一世ヘヌリノタメニハ正統ノ孫
 ナルカ故ニス「」モ之ヲ拒ム「」ヲ得ス條約
 ヲ結テ死後ニ位ヲ傳レ「」許シタリ一千百五十
 四年「」死シ第二世ヘヌリ立ツ第二世ヘ
 又リハ「」

ラレテ¹子ナルカ故ニコレヨリ²第二世へ又
 英國ノ王家ヲナラレテ¹姓ト稱ス²近傍ノ地ヲ取り
 フランス³其木家ノ所領⁴地⁵近傍ノ地ヲ取り
 佛蘭西全國ノ三分一ハ英國ニ屬セリ⁶我大治五年
 九年へヌリ死シ其長子リナルド立ツ⁷一千百八十
 九年リナルド死シテ子ナシ其弟⁸立ツ⁹ジヨ
 在¹⁰世ノ間ハ英國ノ政治大ニ荒廢シタリ此時ニ
 當テ佛蘭西王¹¹モリッブ¹²オ¹³ギニス¹⁴キニス¹⁵英明ノ君ニテ
 近來英國ニ屬セル土地ヲ恢復シテ再ヒ佛蘭西ノ
 版圖ニ併セタリ然レモ英國ニ於テハ¹⁶一千百七十
 二年¹⁷第二世へヌリノ時代ヨリ阿爾蘭ヲ征伐シテ

次第ニ之ヲ押領セルカ故ニ佛蘭西ノ地ヲ失フト
 モ所得ヲ以テ所失ヲ償フニ足ルベシ但シ阿爾蘭
 全ク制伏シタルハ爾後四百年ノナリ¹⁸千二百
 十九年¹⁹死シ其子第三世へヌリ²⁰年甫テ九歳
 位ニ即キ王ノ叔父²¹ベハブ²²ロ²³ク²⁴侯²⁵政ヲ攝ス²⁶千二
 百七十二年²⁷第三世へヌリ²⁸死シ其子位ニ即ク之ヲ
 第一世²⁹エドワルト³⁰トス³¹○³²一千零六十六年³³ノルマ
 一統ヨリ第一世エドワルドノ即位ニ至ルマテ
 ノ間ニ記スヘキ事件ノ大略ハ右ノ如シ³⁴ノルマ
 一統ノ後ハ封建世祿ノ法ヲ定メ³⁵貴族ハ各土地ヲ

領シテ其領地、内ヲ臣下ニ分テ與ヘテ領内ノ政ヲ治メ又右ノ貴族并ニ小祿ト雖臣國王ヨリ直ニ領地ヲ賜ハル者ハ一般ニ集會シテ事ヲ議シ此會議ニテ定クル法律ヲ以テ國中最上ノ權トス故ニ貴族等ハ常ニ國民ト一和シテ其力ヲ藉リ王家ニ向テ爭論シ國王ヲシテ獨リ權柄ヲ專ニセシメバ

我建堡年
千二百十五年ジヨレ王在位ノキニ至テマダ大タル大義ト云ヘル法律ヲ定タリ此法律ノ趣旨ハ國王ノ特權ヲ恣ニスル惡弊ヲ防クモノニシテ其大意ハニテ条アリ即チ第一條ハ凡ソ國民ニ罪アルキ

ハ必ス支配ノ主人ニテ其罪ヲ吟味シ裁判シテ然ル後之ヲ罰スヘシトノ一ナリ此ノ條令後世ニ傳ヘテ時代ニ後ヒ事宜ニ應シ次第ニ變革シテ今日英國ニ行ハル「國律名」トライエ、バ、ジュ、リ、ノ法トナレリ

英國ニ行ハル「國律名」トライエ、バ、ジュ、リ、ノ法トナレリ

判ノ正否ヲ見テ之ヲ議論シ罪人モ其罪ニ伏テ立合ノ處スルヲ撰ヒ置キ裁判者ト起シ每ニ國内ニテ初テ刑ヨキモノヲ撰ヒ置キ裁判者ト起シ每ニ國内ニテ初テ刑其人數ノ内ヨリ二十四人或ハ十ニ人ソトヲ呼出ル。バ、イ、ジュ、ト云フ但シムル此法ト同様

國會ノ大議ニテ免許スルニ非サレハ國民ヨリ軍

役ノ代トシテ金ヲ収ム可ラストノナリ此條令
 ハ唯世祿ノ土地ヲ領セル貴族等ノタノニ益アル
 ノミニテ國王私家ノタノニハ不便利ナリ後世ニ
 至テ下院ノ議事官國內收税ノ權柄ヲ執ルノ法
 ハ此條令ニ基キタルナリ○此法律ヲ定テヨリ
 王室ト貴族ト互ニ權ヲ争ヒ貴族ノ勢次第ニ強盛
 トナリ第三世ヘ又リノ代ニ至リ地名レイセストムノ
 君モレヲルトナルモノ一時英國ヲ支配シ千二百
英王三年六十五年諸方ノ名代人ヲ會シテ國事ヲ議シタル
 ナリ即チ英國議事院ノ始ナリ○又第二世并ル

レハノ時代ヨリ政府ト寺院トノ間ニ爭論ヲ生セ
 リ其事柄ハ第一寺院ノ僧官ニテ俗事ヲ取扱フ
 ニ付キ政府ニテハ俗事ヲ取扱フノ權ハ王家ニア
 ルカ故ニ王家ヨリ共僧官ヲ命スベシト云ヒ寺院
 ニテハ此權ハ法皇ヨリ出タルモノナルカ故ニ寺
 法ニ由テ自カラ之ヲ命スヘシト云フ第二衆僧ニ
 罪アルキ政府ニテハ寺院ヲ支配スル權アルカ故
 ニ國法ニ後テ之ヲ罰スヘシト云ヒ寺院ニテハ寺
 法ニ從テ之ヲ裁判スヘシト云フステール王ハ
 第一條僧官ヲ命スルノ權ヲ寺院ニ許シタルニ第

二世へ又リ王ハ痛ク之ヲ拒ミ寺院ノ特權ヲ奪テ
 舊法ニ復シタリ爾後又寺院ヨリ異論ヲ唱ヘ其勢
 次第ニ盛ニシテ政府ノ權ヲ壓倒スルニ至リタレ
 氏第三世へ又リノ世ニ及テ在位ノ長キ間ニ漸ク
 寺院ノ權ヲ削キタリ○第一世エドワルト在位ノ
 間ニ國內ノ政治次第ニ整ヒ國政會議ノ様子恰モ
 現今議事院ノ風アリ即チ國內ノ貴族ハ自カラ會
 議ニ出席シ貴族以下ニテモ采地ヲ領スルモノハ
 數人ノ内ヨリ名代人ヲ出シテ會席ニ列坐セシメ
 兩局相別ル、今ノ上院下院ノ如シ然レ此會

議ノ人々年月ヲ經ルニ從テ次第ニ權威ヲ張リ國
 内一般ノ事務ニハ注意セスシテ徒ニ國王ノ命ヲ
 拒ミ且當時ノ法ニテ貴族ノ領地ハ世々子孫ニ傳
 へ易ハルヲナクシテ陪臣へハ新ニ世禄ヲ與フル
 ヲ禁スルカ故ニ貴族ノ領地ハ益々加増シ世禄陪臣
 ノ數ハ益々減セリ○第一世エドワルトノ世ニ於テ
 ハ寺院ノ俗權ヲ削キタレ氏此事ニ付テ爭論ヲ起
 ストナレ外國交際ニ於テハ其勢甚盛ナリ又ヨリ
 ルスヲ征服シ蘇格蘭ヲ攻テ殆ント之ヲ服從セシ
 メタリナリルスハ英國東方ノ地ナリ從來獨立國
 ナリシカ此時ヨリ英ノ所領トナリ方今ニ

テモ英國ノ太子ハ

千三百零七年我徳治三年第一世エドワルト人名死シ太子位ニ即

ク之ヲ第二世エドワルト人名第二世エドワルト

ハ父ノ業ヲ繼ツク一能ハス蘇格蘭ト戦テ敗イルシ其

後常ニ國內ノ貴族ト不和ニシテ遂ニ千三百二十我嘉曆三年

七年議事院ノ評議ニテ王位ヲ廢セラレ幽室中ニ

死シタリ其子第三世エドワルト位ニ即ク年甫多テ

十四歳ナリ第三世エドワルト在位ノ間ニ起タル

大事件ハ佛蘭西トノ戦争ナリ其發端ハ佛蘭西國

王死シテ嗣子レナシ其血縁ノ者ヲ詮鑿スルニエドト

ワルトノ母氏イサベラ佛ヨリ其ニ最モ近親ニテ

佛蘭西國王ノ位ヲ繼クヘキ理ナレト佛國ノ法律

ニ於テ國位ニ即クモノハ必ス男子ニ限レルカ故

ニイサベラヲ立テス是ニ於テエドワルト王議論

ヲ起シイ仮令ヒ國法ニテ婦人ノ身ヲ以テハ王位ヲ

繼ク可ラサルモ其所生ノ男子ナレハ自カラ佛

蘭西國ニ君臨スルノ理アリトテ兵ヲ起セリ是ヨ

リ先キ英國ノ兵ハ蘇格蘭ト戦争中ナレト佛蘭西

ノ事起ルニ及テ國人皆蘇格蘭ヲ棄テ佛國ニ向ル

千三百三十七年ヨリ千三百七十四年ニ至ルマテ

三十七年ノ間戦争シテ屢勝利ヲ得遂ニ佛蘭西王
 ヲ生捕リ其國內ヲ掠亂シタレモ到底英國ニ得ル
 所ノ利ハ「ボルドー」「バヨン」「カレ」ノ地ヲ押領シタ
 ルノミ
 第三世「エドワルト」ノ世ニ於テハ士風一面目ヲ改
 メテ次第ニ文明ニ進ミ又從來「ノルマ」人ト「サク
 ソン」人トノ間ハ動モスレハ不和ナリシカトモ佛
 蘭西トノ戦争起テヨリ一般ニ人氣ヲ引立テ却テ
 國內一致シ初テ大英一國ノ風儀ヲ成シサクソン
 言語モ次第ニ變化シテ英語トナリ文學大ニ進

ミタリ
 我々軍
 千三百四十九年惡疫大ニ流行シテ國內ノ人口過
 半ヲ亡ヒコレヨリ諸役夫職人ノ賃銀騰貴セシニ
 付キ官府ヨリ命ヲ出シ古來ノ割合ヲ以テ賃銀ヲ
 取ラシメントレモ人心之ニ服セス依テ又嚴
 法ヲ設ケ賃銀ノ高下ハ自然ニ任セテ官府ヨリ妨
 ルヲナシト雖モ都テ六十歳以下身體強壯ニシテ
 活計ナキモノハ他人ノ求ニ應シテ奉公セサルヲ
 得ス若シ之ヲ拒ムハ罪ニ行ヒ且奉公ノ年期中
 出奔シテ他國ニ遁ルモノアレハ直ニ之ヲ召

挿^トへ其前額^{セシダ}ニ奔^{ホシ}ノ字ノ焼印^{アキ}ヲ押^オセリ又此時ニ於
 テハ佛蘭西トノ戦争ニ由テ軍費^{グンヒ}足ラサルニ付キ
 其後通用金ノ位ヲ低^ヒクセシカ故^{ダレヨク}ニ物價^{バカ}騰貴^{トウキ}シ從
 テハ職人ノ賃銀モ増スヘキ筈^シナレ氏亦之ヲ禁^{キン}シ
 徒^タニ官府^{カンプ}ノ命^{メイ}ヲ以テ物價^{ブツカ}ヲ定メ其弊^ヘヲ救^スハレト
 シタレ氏不便^{フビ}ヲ以テ不便^{フビ}ヲ救フノ策^{サツ}ニテ時勢^{ジセイ}ニ
 益アルヲナレコレヨリシテ次第ニ國內ノ人心ヲ
 失ヒ第三世エドワルト在位ノ間ハ無事ナリシカ
 其嗣子第二世リナルドノ世ニ至テ内亂^{ナイラン}ヲ生シ千
 三百九十九年王ノ叔父^{チソフ}ラ^{地名}ンカス^{人名}ノ君^{ミコ}ハ又リ

兵ヲ擧^アケリナルトヲ廢^イシテ自立^{ジリツ}ス之ヲ第四世ヘ
 スリトス此君ハ生来才カアレ氏其立^{サンリツ}ノ後國內常
 ニ穩靜^{オンジヨウ}ナラス但シ議事堂ノ法ヲ脩^{オウ}メ上下兩院ヲ
 一^{イツ}和^ワセシメタルハ在位中ノ大功ナリ第四世ヘ又
 リ死レ太子立ツ之ヲ第五世ヘヌリトス第五世ヘ
 スリ王位ニ即テヨリ祖先^{ソセン}ノ志ヲ繼^キテ佛蘭西ノ國
 位ヲ兼ントレ兵ヲ起シテ之ヲ攻^セメ多年ノ間戦争
 シテ第六世ヘスリノ世ニ至テハ大ニ佛ノ兵ニ克^{カク}
 テ殆^{ホト}ント其國ヲ押領^{オウリョウ}セントスルノ勢^{イキ}ナリシカ本
 國ノ内亂ニ由テ遂^{ツイ}ニ兵ヲ引キタリ○初メ第四世

ヘヌリノ死スル片其嗣子アレ氏地名ヨルタノ君リテ
 ルト國位ニ即タベキ正統ナリトテ兵ヲ擧ケテラ
 ンカストル家ト戦ヒ四十年ノ間互ニ勝敗アリ
 世ヘヌリハ地名カスールヨリ起タルヲ以テ第四
 世ヨリ第六世ヘヌリニ至ルマテヲランカストル
 家ノ世千四百八十五年ヘヌリチュートルナルモノ
 ト云フ
 起テランカストルノ家系ヲ續キヨルク家ノ女ヲ
 娶テ國內一統ニ歸ス之ヲ第七世ヘヌリトス○第
 七世ヘヌリノ世ニ於テ記スヘキ大事件ハ封建世
 祿ノ貴族ヲ壓伏シテ其權ヲ削タル一條ナリ英國
 舊來ノ風習ニテ國內ノ大貴族多ク家來ヲ養ヒ私

ニ攻伐防禦ノ備ヲナシテ國內ニ威權ヲ張リ他ト
 爭論ノ一アレハ家來ハ各其君ヲ助ケ裁判所ニ出
 テ之ヲ辨論スルノミナラス甚シキニ至テハ國法
 ヲ犯ストモ君ノ威權ヲ藉リ罪ヲ適ルヘキヲ知テ
 君ノ仇トスル所ノ人ヲ襲撃スル一アリ或ハ又此
 家來等君ノ手ヲ離レテ浪人スル一アレハ他ニ活
 計ノ路ヲク強盜ヲ以テ事トナシ英國内乱ノ間ハ
 其乱暴殆ント極度ニ至レリヘヌリ王位ニ即テヨ
 リ意ヲ決シテ此惡弊ヲ除カント欲シ種々其處置
 ヲ施シタルニ遂ニ又戰爭トナリ國內ノ貴族ト戦

テ大ニ克チ一時ニ其權柄ヲ奪ヒ又隨テ其家ヲ没
 入シ大貴族ノ滅ルモノ甚多シコレヨリシテ貴族
 ノ勢威全ク地ニ墜チ且其風俗次第ニ游惰ニ流レ
 其領地ノ者ヲ賦役ニ用ユル代トシテ領内ヨリ金
 ヲ出サシムルニ至テ卑賤ノ小民自カラ武事ヲ廢
 シテ工業ヲ勉メ王家ノ法律ヲ尊奉セリ都テヘ又
 リ王ノ政ハ強大ヲ制壓スルノ趣旨ナレ凡隨テ又
 弱小ナル下民ヲ撫育シテ其所ヲ得セシムルカ故
 ニ貴族ヲ滅シテ徒ニ王家ノ特權ヲ張リタルニハ
 非サルナリ第七世ヘヌリ死シテ太子立ツ之ヲ第

八世ヘヌリトス○第八世ヘヌリ故アリテ其妃ヲ
 離別ヒントシテ羅馬法皇ノ許ヲ得ヌ依テ法皇ト
 信ヲ絶チ自カラ諸寺院ノ統領ト稱セリコレヨリ
 先キ日耳曼及ヒ瑞西ニ於テプロテスタント
 人ノ唱ル耶穌正教ナルモノニテノ宗門起テ英國
 天主教ヲ改宗シタルモノト云フノ宗門起テ英國
 ノ人民之ニ歸依スルモノ多ク寺院ノ學僧モ竊ニ
 之ヲ信仰セシカハ此度國王ト羅馬法皇ト不和ヲ
 生スルニ至テ矚目ノ小民ハ益羅馬ノ天主教ヲ惡
 且又強暴ナルモノハ天主教ノ寺ヲ毀テ財物ヲ
 掠奪スルヲ悦ビ之カ為プロテスタントノ宗門次

第二國中ニ弘マリタリ國王モ從來此ノ宗旨ヲ信スルニハ非サレモ自カラ寺院ノ統領ト稱シテ羅馬ニ敵對セルカ故ニ止ムヲ得スレテ國人ノ改宗スルヲ許セリ武安四年千五百四十七年第八世ベヌリ死シテ其一子エドワルト立ツ之ヲ第六世エドワルトトス年甫テ九歳ナリエトワルトハ大ニプロテスタントノ宗門ニ歸依レ國內ノ教化次第ニ盛ナリシカ我天正三年千五百五十三年不幸短命ニシテ死ス年十五歳ナリ死後其姉マリ立テ女王トナル○此女王ハ專ラ天主教ヲ信シテプロチヌスタント宗ノ者ヲ

痛ク追捕レ國內宗門ノ為ニ命ヲ落スモノ二百人餘ナリト云フ即位ノ後西班牙國王第二世人名ヒリフノ配偶トナリタレモ子ナシ我永祿元年千五百五十八年死シテ異腹ノ妹エリサベツト立ツエリサベツトハ元來プロテスタントノ教ヲ奉スレモ其宗派ノ人ノ跋扈スルヲ嫌ヒ強テ其宗門ニ左祖セサルカ故ニ天主教ノ人モ憤懣スル一ナクシテ却テ互ニ一致セリ

○封建世祿ノ法次第ニ廢止セシヨリ國內ニ於テ土地ヲ所持セル者ハ新地ヲ開拓シテ其領分ヲ弘ムルノ望ヲ絶チ專ラ其身一代ノ間ニ蓄財スル

ノミヲ勉^{シム}ルカ故ニ開墾^{カキ}スヘキ土地モ自カラ荒蕪^{クワグワ}
 ニ屬^ゾシ之カ為小民産業^{サシヤク}ヲ失テ他國へ流移^{リウイ}スルモ
 ノ多シ又亞米利加ノ金坑^{キンカウ}ヲ發見^{ハツケン}セシ以來通用金
 ノ位非常^{ヒジヤク}ニ下落^{ゲタ}シ隨テ諸品物ノ價^{ミナシ}戢^セニ騰貴^{トウキ}シテ
 諸民困窮^{クワンキウ}セリ固ヨリ物價ノ騰貴^{トウキ}スルニ準^ジシテ日
 雇賃^{ヤヒシ}銀モ増シタレ凡物價ノ割合ニ應^{オウ}セスシテ物
 論^ロ穩^{オン}カナラサルカ故ニ政府ヨリ屢法令ヲ出シ遂
 ニ千六百零二年救貧^{キウヒン}ノ大新法ヲ立タリ○エリサ
 ベットノ世ニ於テハ英國ノ武威内外ニ耀^{カヤ}キ阿爾蘭^{アイルランド}
 モ四百年前初テ征服^{セウブ}シタレ凡此ノ時ニ至テ其服

從スル一益固ク且又國人航海^{カウカイ}ノ學術モ一時ニ開
 ケテ大ニ進歩^{シンポ}シタリ千六百零三年エリサベット死
 レテ子ナシ是ニ於テ蘇格蘭^{スコットランド}國王第六世ゼームス
 コッ^コノ故ヲ以テ英國王ノ位ヲ嗣^スキ攻テ第一世ゼ
 ームスト稱^シセリコレヨリ兩國一統ニ歸^ルシ國ヲ大
 不列顛^{ブリテン}ト名ケ阿爾蘭^{アイルランド}ヲ併^メテ合衆王國ト稱ス○
 ゼームス王在位ノ間ハ内外無事ニシテ國民太平
 ノ德澤^{トクサク}ヲ蒙^カリ亞米利加ノ地方ヲ開拓^{カクタク}シテ英國ノ
 所領^{ショウリョウ}トナシタルモコノ時ヲ以テ始トス但シ王ノ
 為人^{トキリヤウ}器量^{キリヤウ}偏小^{ヘンセウ}ニノ私欲^{シヨク}多シ常ニ議事院ト權柄^{ケンペイ}ヲ

争ヒ在位二十四年ノ間其争論止ムナシ我寛永二年千六百
 二十五年死シテ太子立ツ之ヲ第一世チャールレスト
 マコノ時ニ當テ議事院ノ威權次第ニ盛大トナリ
 諸州ヨリ名代人ヲ出シテ國政ヲ會議シ上下各其
 所ヲ得衆庶富饒ニ至リタレ我國土ハ議事院ノ盛
 ナルヲ忌ミ其權柄ヲ奪テ王家ノ威ヲ張ラント欲
 シ即位後四年ノ間ニ三度議事院ノ會議ヲ設ケシ
 カ爾後ハ之ヲ廢セリコレヨリ物論蜂起シ之ニ加
 フルニ國內宗旨論ニテ各處ニ徒黨ヲ結ヒ互ニ相
 争闘レテ殆ント間日ナシ是ニ於テ止ムトヲ得ス

議事院ヲ再興シタレ我慶安二年遂ニ國乱ヲ救フヲ能ハス
 千六百四十九年議事院ノ定議ニテ國王ノ位ヲ廢
 シテ國ヲ合衆政治トナシ我萬治三年コロムエルナル者國議
 總督ノ名ヲ以テ政權ヲ專ラニシ内外ト戰テ屢功
 アリ千六百五十一年同四年コロムエル死シ其子總督ノ
 職ヲ緝スルニ及テ千六百六十年國人共ニ第一世
 チャールレスノ子ヲ奉シテ國王トナス之ヲ第二世我
 ーレスト名ツク千六百八十五年第二世我ーレス
 死レテ其弟立ツ之ヲ第二世我ゼームストス我ゼーム
 ス位ニ即テヨリ父兄ノ遺風ニ從テ天主教ヲ奉信

他宗ニ^キ歸依スルモノヲ^エ惡ム^ニ甚シク之ニ由テ
 人心ニ失ヒ國內又亂ルゼ^{イム}スニ^ス二^ス女一^ス男ヲ生ム
 長女ヲ^{マリ}ト云ヒ^{オランダ}荷蘭國合衆政治ノ^{セイダ}大統領ヲ^ラ
 ニ^カ「侯井ルレム」ニ嫁ス次女ヲ^ア「^{エラセウ}アンナ」ト云ヒ男子
 ハ^セ「三世ゼーム」スナレ^ヒ幼少ナリ此時ニ於テ國
 内ノ^グ「プロテスタント」宗ニ^イ從フモノハ皆國王ノ忌^キ
 諱ニ^フ觸レ^ニ自カラ^ニ其生ヲ安スル^{コト}能ハサルヲ以テ
 多クハ^レ荷蘭ニ^レ出奔^セシテ^{ヒソカ}竊ニ^シ「^{ヨウ}侯井ルレム」
 ニ^イ依頼ス^ル井ルレム乃^チ「プロテスタント」宗ノ人ヲ集
 メテ兵ヲ^ア擧^ゲテ英國ニ向テ其^キ舅氏^{ゼーム}スヲ攻^セメ

之ニ國人固ヨリ王ノ^{ガウ}暴政ヲ厭ヒ^シ「^{ナレ}ハ敵ヲ
 防クモノトテハ一人モナク國王ノ平生ヨリ頼^ミ
 ニ^セシ兵卒等モ^{サカ}「^シ倒ニシテ後ヲ^ウ伐ツノ^イ勢ニテ
 王ハ^イ遂ニ^フ佛蘭西ニ^ス出奔セリ千時^ク六百八十八年
 ナリ是ニ於テ議事院ヨリ國內ニ^フ布告シ^セ「^ムス
 王ノ位ヲ^イ廢シ^ム井ルレムヲ^イ奉^ヒテ英國王トナシ第
 三世^井「^ルレム」ト稱ス^井「^ルレム」ハ元^ハ「^イ荷蘭合衆政
 ノ位ニ^イ昇タルカ故^ニ兩^井「^ルレム」王位ニ^イ即テヨリ國
 一^君ノ^イ姿ナリ^井「^ルレム」王位ニ^イ即テヨリ國
 法ヲ^寛ニシ^テ議事院ノ權ヲ^重クシ^テ王家ノ^イ特權ヲ^張
 ルノ^イ舊弊ヲ^除キ宗門ノ^イ議論ヲ^鎮靜シ^テ五十年來ノ

國亂ヲ一掃サツテ英國ノ歴史更ニ面目ヲ新ニセリ
 井ルレムハム在位ノ間佛蘭西フランス王第十四世ロイス天主
 教ヲ奉信ホウシンシテプロテスタント宗ノ人ヲ追捕ツイホスル
 嚴刺ゲンキナルニ付キ英人ノ同宗ナルモノハ遙ハシニ之ヲ
 憤イライリ且佛蘭西王ハム元トノ英國王ハムゼーハスノ一族ヲ
 助ケテ其家ヲ恢復カイフクセントスルニ付キ遂ニ英佛
 兩國ノ不和ヲ起オコシテ戦争ニ及ヘリ○井ルレム王
 ノ世ハ國內ノ貿易次第ニ繁盛ハンジキレ人口益增加ス百
 年前ハ龍動リウドウ英國ノ人口二十五萬ナリシニ當時ハ
 之ニ一陪イハイレテ五十萬餘ニ至レリ○我元禄十五年千七百零二年

第三世井ルレム死シテ子ナシ王妃マリノ妹アン
 ナ我正徳四年立ツ千七百十四年死シテ子ナシ初ノ井ルレム
 在世ノ時議事院トノ商議シヤウギニテ法ヲ立テ第二世ハム
 一ムスノ一族及ヒ其他天主教ヲ奉スルモノハ王
 家血統ケツトウノ子孫ト雖レモ後來國王ノ位ニ昇ノボルヲ禁
 スヘントチカ檣チカヘリ此度女王死レテ嗣子ナキニ及テ
 プロテスタントノ宗門ニ歸依スル王族ヲ探索タンサツス
 ルニ第一世ゼーハムスノ曾孫ソウソクハノーウル我耳曼列
 ノ君ミコジョーシナルモノ最モ近チカ威セキナルヲ以テ乃チ之
 ヲ迎ヘテ王位ニ即カシメ第一世ミヨリジョーシト名ク但

レ第一世^{ビームス}即位ヨリ以来王家ノ姓ヲ「スキュ
 ワルド家ト稱セシカ第一世^{ジョージ}ヨリ後ハ改テ
 「ハノーウル家ト唱ヘリ^{我享保十一年}千七百二十七年第一世^{ジョ}
 ージ^死レテ其子位ニ即ク之ヲ第二世^{ジョージ}トス
 王ノ宰相^{ロベルト}ワルボールナルモノ第一世^{ジョ}
 ージノ世ヨリカヲ盡シテ王家ヲ補佐シ^{スットランド}蘇格蘭ノ
 叛賊ヲ平ケ^{蘇格蘭ノ叛賊トハ}「スチュワルド」人^{心ヲ}
 鎮静シ第二世^{ジョージ}即位以來十二年ノ間國內大
 平無事ニシテ諸民其德澤ヲ被ルハ専ラ宰相ノカ
 ナリ^{我元文四年}千七百三十九年ニ至テ英國ノ貿易商人等^西

班牙人カ亞米利加ノ地方ニ於テ貿易ノ利ヲ專ラ
 ニスルヲ憤リ遂ニ兩國ノ怨ヲ結テ戦争ニ及ビシ
 カ平生不逞ノ輩此^{我寛文六年}乘シテ宰相ヲ讒レ遂ニ其
 位ヲ黜ケタリ○千六百六十八年ノ騷亂ニテ第二
 世^{ゼームス}ヲ放逐セシヨリ國內ノ人民王ノ不幸
 ヲ追想シテ竊ニ徒黨ヲ結ヒ「スチュヤルド家ヲ再興
 シテ舊時ノ政治ニ復セント欲スルモノアリ且佛
 蘭西ニテモゼームスノ一族ヲ扶助シテ常ニ英國
 ノ^{キレ}「^{ツカ}」^ノ「^セ」^ニ引續キ國
 内^{オキ}「^ナ」^ラサルヲ好機會トシ^{我享保十一年}千七百四十五年第

二世ゼームスノ孫エドワルトナルモハ佛蘭西ヨ
リ起テ蘇格蘭西北ノ地ニ渡リ其土地ノ貴族ヲ集
メテ兵ヲ擧ゲシニ從來其家名ヲ追慕スル輩蜂起
雲集シテ之ニ應シ一時ニ兵勢ヲ得漸ク南シテ英
國ノ本領ニ攻入りタレモ本領ノ人ハ之ニ與ミス
ルモ少ク且佛蘭西ノ應援ナキヲ以テ遂ニ復タ
蘇格蘭ニ引ヤコロトテシニ於テ官軍ト戦ヒ遂ニ
敗走レタリ從來蘇格蘭ノ貴族ハ世祿ナリシカ今
般ノ騷乱平定シテ後政府ヨリ其爵祿ヲ奪ヒ痛ク
之ヲ壓伏レコレヨリ國內擾乱ノ患ナシ蘇格蘭其

我嘗建元年

乱ノ後千七百四十八年英佛其他歐羅巴諸國互ニ
和睦ヲ結ヒ日耳曼ノアキストラキツブルト云ヘル
所ニテ同盟シタレモコノ和約遂ニ益ナシ此時ニ
於テ英國海軍ノ勢名次第ニ盛ニシテ遂ニ歐羅巴
諸國ニ冠タルニ至リシカハ佛蘭西ハ其海軍ノ威
權ヲ英ニ奪ハレタルヲ憤リ之ヲ恢復シテ海外ノ
所領ヲ廣クセント欲シコレヨリ英佛ノ間ニ隙ヲ
生シ又同時ニ普魯上ト奧地利トノ戦争モ未タ収
ラズ歐羅巴各國ノ事體紛擾或ハ合縱シテ英ヲ攻
メ或ハ連衡シテ佛ヲ敗リ遂ニ全州ノ大騷乱トナ

我宝曆六年
 リ千七百五十六年ヨリ七年ヲ經テ漸ク平和ニ復
 シタリ世人之ヲ七年ノ師ト唱フ同十年千七百六十年大
 戦争ノ央ニシテ第二世ジョージ死シ其孫第三世ジョージ
 一ツ立ツ戦争ノ初ヨリ英國ノ宰相チャップマンピット
 ナルモノ文武兼備ノ才徳ヲ以テ内外ノ事ヲ處置
 シ英國ノ兵常ニ勝利ヲ得テ其威名世界中ニ耀カヤキ
 シカ第三世ジョージ位ニ即クニ至テコノ宰相ヲ信
 用スルヲ能ハス遂ニ之ヲ退ケ他人ヲ擧テ其職ニ
 代ハラシノコレヨリ英國ノ武威俄ニ衰微レテ七
 年ノ師ノ終ニ至リ各國ト和約ヲ結テ英國ハ北亞

米利加ノカナタヲ取レリ○七年ノ師平定シテ後
 ハ海外所領ノ地ニ於テ人民次第ニ繁殖シ亞米利
 加ニ在ル領地ノ内カナダヲ除キ其余ノ地方ヲ分
 テ十三州トナシ其人口二百五十萬ニ及ヘリ其外
 東印度並ニ西印度諸島ノ地モ次第ニ開拓シテ富
 饒トナレリ○第一世ジョージノ世ヨリ以來英國内
 ニハ記スヘキ大事件ナシ連年五穀豐熟シテ下民
 安樂ヲ極ハリ千七百十五年ヨリ千七百六十五年
 ニ至ルマテ五十年ノ間ニ凶年僅ニ三次小麥ノ價
 千六百年代ニ比スレハ半價ヨリ少シク貴キノ

人口ハ甚タ増加セス我享保五年千七百二十年國內ノ人員五百三十萬ナリシモノ我享曆十年千七百六十年ニ至テ六百四十萬人トナレリ故ニ職人役夫ハ日イヨクセシ傭錢ヲ以テ自カラ富ヲ成シ更ニ苦情クビシクヲ訴ルモノナク國內一般ノ風俗文明ニ赴キ禮義ヲ重ンシ次第ニ粗暴ソダノ舊習ヲ脱セリ○第三世ビョージノ世ニ至テ國民産業ヲ脩オソサノエ作ツクヲ勉ツツノ益富饒フジダヲ致レテ數年ノ間俄ニ全國ノ風ヲ一變シ人々皆門閥モンバツヲ貴フノ政ヲ嫌テ自カラ不羈獨立ノ意ヲ生シ議事院ニテ國政ニ關ル者ノ内ニモ亦此黨ノ人アリテ專ラ下民ヲ寬裕

ニシ門閥ニ關カラサルノ説ヲ唱ヘシカハ政府ノ命ヲ以テ此黨ノ長タル井ルクスヲ議事院ヨリ黜クケタリコレヨリ國民不知ヲ起シ遂ニ一大事件シケンノ緒由トナレリ我享安三年從來英國ニテ法ヲ寬クハシニシ門閥ヲ廢スルノ説ハ千六百五十年代ノ比ヨリ盛ニ行ハレテ其黨ノ人北亞米利加ノ領地ニ住居スル者多カリシニ此度本國ニテ同黨ノ黜クケラレタルヲ聞テ既ニ同情相憐トクシクハノ意ヲ生シ之ニ加カフルニ當時遇英國政府ヨリ亞米利加諸州ヘ加稅カゼイヲ取ルノ命令ヲ下クセシカハ州民大ニ憤怒フシドシ遂ニ我享永五年千七百七十六

年兵ヲ擧テ本國ニ叛キ獨立ノ撤文ヲ布告シタリ
 亞米利加ノ叛賊ハ其勢固ヨリ強盛ナルモ兵威ヲ
 以テ之ヲ壓伏ス可カラサルニ非ヤレ氏佛蘭西、西
 班牙荷蘭ヨリ竊ニ其聲援ヲナレ且英ノ本國ニテ
 其他ノ歐羅巴諸國ト戰爭起リ内外ノ事多端ニシ
 テ賊徒ヲ征服スルヲ能ハス千七百八十三年ニ至
 テ遂ニ和約ヲ結ヒ亞米利加ノ獨立合衆國タルヲ
 許シタリ○亞米利加戰爭ノ中英國ノ宰相ロルト
 ノルス專ラ軍務ヲ司リテ大ニ人心ヲ失ヒ又同職
 ゼーラムス、フラクスマハ後來亞米利加戰爭ノ一ニ付キ

ノルスノ説ト相反シテ互ニ歎ヲ失ヒシカ戰爭ノ
 終ニ至テ再ヒ相和レ議事院ノ官員中ニテ最モ權
 威アル貴族輩ヲ引テ徒黨ヲ結ヒ相共ニ謀テ王家
 ノ權ノ削キ議事院ヲ盛大ニセント欲シ新令ヲ建
 テ印度地方ヲ議事院ノ支配ニ屬セントセシカハ
 王ハ固ヨリ此徒黨ヲ惡ミシヲナレハ此度新令ヲ
 出サントセシラ宰相等ノ罪ニ歸シテ之ヲ黜ケテ
 ツサム、ビット第二世ノ少子井ルレム、ビットヲ用
 ヒテ事ヲ任セリ然ル所議事院ノ下院ニテハ議論
 蜂起シ皆其命ニ服スルモノナク事情甚困難ナリ

シカ庄^{ピット}ハ既ニ王ノ委任ヲ受ケ且國內ノ人心痛クナルスノ徒黨ヲ惡ミ又裁判局^{キタ}ニテモ^{ピット}ノ説ニ左祖^{サタレ}セレカ故ニ此機會ニ乘シテ遂ニ大事業ヲ達シ議事院ヲ一掃シテ下院ノ異議ヲモ論破シ新ニ其法ヲ改ル^イヲ得タリ此時^{ピット}ハ年二十四歳ナリゴレヨリ新宰相ノ威名國內ニ行ハレ尚又人才ヲ擧テ各其所ヲ得セレノ共ニ國事ヲ議シ之ニ由テ從來不遇^{ツタイ}ノ輩モ次第ニ宰相ノ處置^{シヨチ}ヲ悦フニ至リ任職ノ後十年ノ間國內周^{アチ}ク太平ノ德澤ヲ被リタルハ宰相^{ピット}ノカナリ○^{代寬延三年}千七百五十年ヨ

我明和七年^{イニ}リ千七百七十年ノ間ニ英國内ニ大土エヲ起シテ^{イニ}河渠^{カキヨ}ヲ通シ運送ヲ便ニシ^{同四年}千七百六十七年ニハハル^{カカセ}グリーウ^グ氏^{クミツキ}紡績ノ機關^{キカクシ}ヲ發明シ^{同六年}千七百六十九年ニハワット^ワ氏ノ發明ニテ蒸氣機關ヲ改正スル等^{コウサマセイザウ}工^{コウ}作^{サマ}製造ノ法術一時ニ進歩シタルヲ以テ貿易高^カ賣^カノ交^カ俄^カニ繁昌シ^カ第三世^{ジヨウ}ジョージ^ジ即位ノ比ハ英國一歳輸出品ノ高千五百萬ポントナリシカ^{我千三百九十九年}佛蘭西^フ騷亂ノ初ニ至テハ其高増シテ二千五百萬ポント^{我千七百五十五年}ニ上レリ但シ國債ハ亞米利加戦争^アノ故ヲ以テ昔^昔日^日ニ比スレハ一倍ヲ増セリ○^{人名}拿破崙^{ナポレオン}ノ騷亂ハ千

我享和二年 地名 八百二年 アミリーニノ和 ワボク 睦 英佛ノヲ以テ中期トナシ此和睦ノ前ハ英ノ海軍武威ヲ振テ佛蘭西荷蘭ノ海外所領ヲ奪却シタレニ陸兵ハ常ニ佛蘭西ニ破ラレ嘗テ勝利ナシ和睦ノ後ニ至テ宰相 ピット ノ處置皆其功ヲ羨セス然レニ亦断然トシテ佛蘭西ノ指揮ヲ受ルノ意ナシ進退コ、ニ窮テ他人ニ職ヲ讓リタレニ 同三年 千八百三年佛蘭西トノ和睦破ル、ニ及テ再ヒ職ニ歸リタリ ○宰相 ピット 在職中ノ大功ハ阿爾蘭ヲ合併シタル一事ナリ阿爾蘭ハ昔年ヨリ英ノ所領タレニ本國政府ヨリ官吏ヲ遣シ其

土人ト政ヲ議シ自カラ別政府ノ姿ヲ為シタリシカ 我寛政九年 千七百九十八年其部内ニ騷乱起リタルヲ以テ宰相 ピット 其機ニ乘シ全ク之ヲ制伏シテ其別政府ヲ廢シ新ニ法ヲ定メ阿爾蘭ヨリ人物百名ヲ撰擧シテ下院ノ議事官トナシ亦上院ノ議事官ヲモ撰擧スルノ例ヲ立タリ ○再ヒ佛蘭西トノ和ヲ破リシトキ英國ハ奧地利魯西亞 我文化三年 シシリ 諸國ト同盟シ佛ノ兵ト戰テ屢利ナシ千八百五年 イタリヤ タラハルガル岬 イタリヤ 西班 イタリヤ 牙ニ於テハ英ノ水師提督子ル イタリヤ ノン佛蘭西 イタリヤ 西班 イタリヤ 牙ノ軍艦隊ヲ破滅シタレニ同年 イタリヤ 日耳曼ノオ

地名
 ストルリツニ於テ奥魯ノ兵拿破崙ノ為ニ破ラレ
 テヨリ同盟ノ兵勢遂ニ振ハス拿破崙ハ其兵ノ向
 フ所天下ノ敵ナク意氣充滿シテ遂ニ又西班牙ヲ
 伐テ之ニ勝テ國王及ヒ王族ヲ廢シ其弟人名ジョーセフ
 ヲ佛蘭西ヨリ迎立テ西班牙王トナシタリ蓋シ西
 班牙王ハ佛蘭西ノ先主ト同族ニテ「ボルボン」姓ナ
 ルカ故ニ拿破崙ノ私心ヲ以テ之ヲ惡ムナリ西班
 牙ノ王族廢滅セラレテヨリ其國民拿破崙ノ強暴
 ヲ憤リ王家ヲ恢復セントテ兵ヲ擧テ佛蘭西ニ反
 キレカハ英國ハ之ヲ好機會トシ西班牙人ヲ煽動

佛蘭西ノ寇ヲ防キタレト佛軍強盛ニシテ其鋒ニ
 當ル可ラス次テ英國ノ將軍人名エムリント同盟ノ
 兵ヲ指揮スルニ及テ事體一變シタリ○エムリン
 トンハ千七百六十九年阿爾蘭ニ生レ少年ノキヨ
 リ佛蘭西ニ遊テ兵法ヲ學ヒ千七百八十七年仕テ
 英國歩兵隊ノ士官トナリ千七百九十七年東印度
 ニ行テ其土人ト戦テ功アリ千八百五年英國ニ歸
 リ連國及ヒ葡萄牙ノ為ニ戦テ勝利ヲ得各國ヨリ
 非常ノ褒賞ヲ受ケ尚又此度ヒ西班牙及ヒ英國ノ
我天明七年
我寬政九年
我文化二年
我明和六年

將軍ト為テ同盟ノ兵ヲ指揮シテ佛蘭西ト戰テ屢
 之ヲ破リ千八百十三年^{我文化十年}ウットリヤノ一戰ニテ盡ク
 佛蘭西ノ兵ヲ西班牙ヨリ追ヒ出シタリコレヨリ
 先キ拿破崙四十五萬ノ兵ヲ率ヒテ魯西亞ヲ攻メ
 シニ飢寒ノ為多ク兵卒ヲ失ヒ僅ニ殘兵ヲ集メテ
 佛蘭西ニ歸リコレヨリ各國ノ兵再ヒ蜂起シカヲ
 合セテ佛蘭西ヲ攻メ千八百十四年遂ニ拿破崙ノ位ヲ
 廢シテエルバ島ニ流シタリ翌年ノ春拿破崙エル
 バ島ヨリ歸テ再ヒ兵ヲ起シタルヲ以テ英國ノ將
 軍^軍エルリントン^{リントン}同盟諸國ノ兵ヲ指揮シワール

ロ^ロニ於テ佛國兵ト戰テ大ニ之ニ克チ拿破崙ヲ
 捕^捕テレントヘレナ島ニ流シ多年ノ騷亂初テ平定
 シタルハエルリントン^{リントン}ノ武功ト云フヘシ是ニ於
 テ英國ハ^エエルリントン^{リントン}ヲ以テ全權使節ト為シ各
 國ノ使節^{オーストリア}奧地利國首府^ウウヰンナニ會同シテ和
 約ヲ結ヒ各其侵地ヲ舊ニ復シタリ拿破崙ノ騷亂
 ニ於テ英國ハ唯其侵入ノ害ヲ被ラサルノミ^シ一テ
 戰爭ニ由テ得ル所ノモノハ甚少シ戰爭ノ間ニ押
 領シタル荷蘭ノ所領^{シヤ}瓜哇及ヒ其他ノ領地モ皆其
 舊主ヘ返シタリ

多年戦争ノ間英國內ヨリ官ニ收納スル貢税ノ高
 甚多シ騷乱ノ終ニ至テハ一歳入税ノ高六千萬我三億千五萬ポ
 ントニ近ク海陸ノ軍役ニ出ル者五十萬人許ナリ
 毎歳右ノ税額ヲ收納スルノ外ニ國債ノ増シタル
我三十七億萬兩六億ポント余ニ上レリ國用ヲ費スツイヤト斯ノ如ク
 莫太ナレ我享和三年凡千八百三年ヨリ千八百十五年ノ間ハ
 國內最モ富饒ヲ致セリ蓋シ其故ハ一ニハ國民皆
 騷乱ノ禍ニ羅リ止ムヲ得スレテ工業ヲ勤ムルヨラダクト
 一ニハ騷乱ノ以前ヨリ蒸氣機關等ノ學術俄ニ
 進歩シテ製造ノ工業大ニ便利ヲ得タルトニ由テ

ナリ

第三世ジョージ在位ノ終ニ至リ年既ニ老ヒテ事務
 ニ倦ミ内外ノ政事ハ皆長子ニ委任セリ千八百二
 十年死レテ長子立ツ之ヲ第四世ジョージトス在位
 十年ニシテ死シ其弟位ニ即ク之ヲ第四世井ルレ
 ムトス佛蘭西騷乱ノ後ハ歐羅巴州内都テ半穩ニ
 シテ英國ニモ記スヘキ大事件ナシ千八百三十七
 年第四世井ルレム死レテ子ナシ由テ第三世ジョー
 ジノ子ケンブリッジノ女子石タトリヤヲ立ツ即チ現
 今ノ英國女王ナリ阿片始末ト云フ書ニ英國女王
妹船將ト爲テ攻入タルヲ支

那ニテ生捕リ云ヤト記タリ然ルニフヒクトリヤハ
 千八百四十一年ノ女子ニテ兄弟姉妹ナシ且阿片ノ師
 ナリ其妹ナラハ十七八歳ノ女子ニテ大軍ヲ師ヒ
 支那ヲ攻タル乎妄説ノ甚シキモノナリ此方今田舎
 人ノ著シタル夷匪犯疆録等ノ書アリテ方今田舎
 ニ行ハルレニ盡ク虚説ノ小説○千七百年代ノ終
 ナリ學者謹テ之ニ惑フ可カラズ
 ヨリ英國人阿片ヲ支那ニ輸入シテ其國人ト密ニ
 賣買スルヲ支那ノ官吏憤怒シ英斷ヲ以テ此賣買
 ヲ禁セント欲シ英國ノ「カビタ」官エルトヲ捕ヘ
 切カシテ價三百萬ポント「阿片」ヲ出サシノ盡ク
 之ヲ燒棄タリ事遂ニ戦争ニ及ヒ支那人敗血シテ
 英ノ為ニ廣東寧波及ヒ舟山島ヲ取ラレ次テ和議

ヲ乞ヒ香港ヲ割テ英ニ與ヘ五港ヲ開キ又英國ノ
 高賣品ヲ燒棄タル償金トシテ二千一百萬「ドル」ラ
 ルヲ三年賦ニ約束シテ英國ヘ與ヘタリコレヨリ
 英人ハ香港ヲ開テ貿易場トナシ今日ノ繁盛ニ至
 レリ
 政治
 英國ノ政治ハ年代ニ從テ變遷シ其時々ノ人智ト
 實驗トニ由テ體ヲ成セルモノニテ國初ノトキ預
 政治ノ本論ヲ立テ次テ之ヲ實地ニ施シタルニ非
 ラス唯知ラス識フスシテ今日ニ至リ其景況ヲ見

我千五百五十年
 我千五百五十年
 大ニコレヲ不直トスル論アリト
 行案スレ僚友某ノ説ニ「百年代後」云戰事ボド不道理者少ト云英國ニモ

ルニ嘗テ先見ノ識アリテ後世ヲ慮レルカ如シ殆
ニト是レ人カニ非ラス天ノ然ラシムル所ト云フ
ヘシ又道理ヲ以テ論スレハ斯ク自然ニ任シテ人
意ヲ交ヘサル政治ニ於テハ必ス乱雜ノ事アル可
キニ却テ然ラサルハ識者モ辨解スルヲ能ハス○
其政體血統ノ君主國內ニ號令スルノ權アレバ別
ニ法律アリテ君主ノ權ヲ抑制ス此法律ハ三局ヨ
リ出ルモノナリ即チ三局トハ王家ヲ第一局トシ
上院ヲ第二局トシ下院ヲ第三局トス三局ノ内國
王ノ位ヲ最上ト定ムレバ最上ノ權アルニ非ラス

上院下院ハ各別局ニ於テ事ヲ識シ説ヲ述ヘ國王
ヲ第一等ノ地位ニ置キ三局會同シテ政ヲ議ス所
謂議事院ナリ國政ニ關カル事ハ先ツ其事ヲ起シ
タル局ニテ同議決定シ次テ又他局ノ議ヲ經テ異
論ナキ所之ヲ國王ニ奏シ其免許ヲ得テ初テ一定
ノ國法ト為ス即チ國王ノ免許ヲ得ル日ヲ以テ其
法ノ施行スルノ日限トスルナリ又王家ヨリ議ヲ
起スコトアリト雖上下兩院ニテ異論アレハ之ヲ
施行スルヲ得ス○上院ハ其議事官四百三十七人
第一王族王子以下現今女王ノ贅婿ト第二不列顛

ノ貴族第三^{タニニ}代任貴族第四^{カクムシ}教化師以上四族ノ會集
ナリ右ノ内王族及ヒ不列顛ノ貴族ハ世々其官位
ヲ子孫ニ傳レ^ス代任貴族ト唱ルモノハ蘇格蘭^{スコットランド}並
ニ阿爾蘭^{アイルランド}ノ貴族ヨリ互ニ人物ヲ撰擧スルモノニ
テ官位ヲ子孫ニ傳フルヲ得ス即チ蘇格蘭ヨリハ
十六人ヲ出シ毎年新ニ撰擧ス阿爾蘭ヨリハ二十
八人ヲ撰擧シテ終身職ニ在リ教化師ハ宗門ニ係
ルモノニテ英倫^{イングランド}及ヒ阿爾蘭ノ合衆寺院ヨリ出ツ
英倫ヨリ出ルモノハ總人數ノ内四人ヲ除キ他ハ
皆終身官位ニ居リ阿爾蘭ヨリ出ルモノハ毎年四

人ツ、順番ヲ以テ議事ニ參ルナリ○上院ノ長官
ヲ「カンセロル」ト云フ國^{コングレス}ヲ預ル且上院ハ國政ヲ
議スルノ外ニ刑獄^{クリミナル}ヲ司ルノ權アリテ國中最大ノ
裁判^{サイバン}ハ此局ニ止ル○下院ノ議事官ハ國民ノ撰擧
スルモノニテ在職七年毎ニ交代スル法ナレ^レ且尋
常七年ヨリ短キヲ例トス議事官ノ數六百五十八
人アリ國內諸方ヨリ撰擧スル員數ノ法次ノ如シ
即チ英倫四十郡ヨリ百四十四人大學校二所ヨリ
四人百八十六都府ヨリ三百二十三人ヲ撰擧シ合
テ四百七十一人ナリ「ラール」ス十二郡ヨリ十五人

五十七都府ヨリ十四人ヲ撰擧シ合テ二十九人ナ
リ蘇格蘭三十三郡ヨリ三十人七十六都府ヨリ二
十三人ヲ撰擧シ合テ五十三人ナリ阿爾蘭三十二
郡ヨリ六十四人大學校一野ヨリ二人三十三都府
ヨリ三十九人ヲ撰擧シ合テ百五人ナリ○下院ノ
長官ヲスピアクト云フ此長官ハ毎年議事院ヲ
開クトキ同局ノ議事官中ヨリ互ニ撰擧スルモフ
ナリ上院下院共ニ國政ニ關スルハ同様ナレトモ下
院ハ錢穀手形ノヲヲ議論スルノ特權アリ此特權
ハ上院ノ羨ム所ナレトモ決レテ之ヲ他ニ許サス總

テ金錢ノヲハ下院ニテ一定ムレハ上院コリ之ヲ
變スルヲ得ス○政府ノ號令ハ國王ヨリ出ルニ非
ラズ王家ヨリ出ルモノト視做セリ王家ノ大臣十
四名アリ其内最モ權威アルモノハ第一錢貨出納
ノ權ヲ執ル宰相ニテ即チ大閣老ナリ第二賦稅事
務宰相第三刑法事務宰相即チ上院ノ第四内國事
務宰相第五外國事務宰相第六海外所領事務宰相
此外ノ大臣ハ王家ニ定位ナクシテ參議スルモノ
ナリ海陸軍ノ事務ノ司ル○右ノ如ク律ヲ定メ國
内治乱ノ責ニ任スルモノハ國王ニ非ラスシテ事

務宰相ナリ故ニ宰相タルモノ議事院及ヒ國民ノ
 信ヲ失ヘハ事柄ノ是非ヲ論セスシテ其宰相ノ職
 ヲ免シ他人之ニ代テ其職ニ任シ國ノ争端ヲモ開
 クヘキ難事ヲ平和シテ痕跡ヲ残スナシ故ニ其
 政治ノ景況恰モ精巧ナル器械ノ如ク一體ノ内自
 カラ調和ノ妙機アリ若シ外ヨリ強暴ヲ以テ之ヲ
 壓スル歟或ハ内ヨリ互ニ不和ヲ生シテ離散スル
 等ノ一ナクハ此政治ハ天地ト共ニ永久スヘシ
 ○英國ニ於テハ政府ヨリ人ヲ教育スルノ法律ヲ
 建ルナク多クハ宗門ノ社中ニテ學校ヲ設ク國

中人々ノ意ニ任シテ其入用ヲ出サレノ一歳ニ集
 ル所ノ金高甚多シ小學校ノ如キハ大概皆此法ニ
 由テ設ルモノニテ凡ソ少年ヲ教育スルニ金ヲ費
 ストノ多キハ世界第一ト云フ可シ但シ政府ヨリ
 ノ取締リナキヲ以テ或ハ此金ヲ用ル一趣意ヲ失
 フトモアレバ政府ヨリ之ニ關係スルトアラハ隨
 テ又弊害ヲ生ス可キカ故ニ其利害得失知ル可ラ
 サルナリ學校ニ備ヘタル積金ノ利息並ニ毎年國
 中ヨリ寄附スル所ノ金高ヲ總計スルキハ年々四
 十萬ポントニ及フヘシ○右ノ小學校ハ專ノ上等

中等ノ人ヲ教ユル為ニ設ケタルモノナレバ近來
 ハ又貧賤ノ子ヲ教育シテ國ノ文明ヲ十分ニセン
 トテ益々學校ヲ設ケ中ニ就テ日曜學校ト唱ノルモ
 ノアリ此學校ニテハ日曜日ノ夕毎ニ教授スルヲ
 以テ此名ヲ得タリ○千八百五十一年英倫及ヒ
 ールズノ十二郡ノ人口二千七百九十二萬七千六百九人ニ
 シテ尋常學校ノ生徒二百十四萬四千三百七十八
 人日曜學校ノ生徒二百四十萬七千六百四十二人
 アリ故ニ之ヲ人口ノ數ニ比例スレハ尋常學校ノ
 生徒ハ人口八人三分六釐ト一人トノ如ク日曜學

校ノ生徒ハ人口七人四分五釐ト一人トノ如シ○
 學校ニテ人ヲ教育スルノ法ハ普魯士、荷蘭等ノ諸
 國ニ一等ヲ讓ルト云フモノモアレバ其實ニ然ル
 ヤ否ハ知ル可ラス但シ英人ノ學術工作ノ諸科ニ
 於テ他國人ニ超越スル所以ハ教育ノ行届タルニ
 非ラス唯其國律寬裕ニレテ又ヲ束縛セス人々ヲ
 シテ其天稟ノ才カヲ伸ヘレムルニ由テ然ルナリ

海陸軍

英國ノ廣大ナルニ準スレハ兵卒ノ數モ必ス多カ
 ラサルヲ得ス然ルニ國民ノ數ト兵卒ノ數トヲ割

合ニスレハ歐羅巴州中ニ於テ英國ノ常備兵最モ
 少レ千八百五十二年ノ記載ニ從ヘハ國王ノ親兵
 十三百騎ト歩兵五千二百人ヲ合テ兵數九ツ十二
 萬九千六百二十五人之ニ大砲隊ノ兵一萬四千四
 百十人ヲ加テ總計十四萬四千零三十五人ナリ此
 内本國ニ在ルモノハ僅ニ五萬千九百四十七人ニ
 シテ他ハ皆海外所領ノ地ニ備ヘリ又本國ノ兵ヲ
 二部ニ分チ三萬零三百五人ハ不列顛ニ備ヘニ萬
 千六百四十人ハ阿爾蘭ニ備ヘリ故ニ防禦ノ片陸
 軍ノ勢ハ遠ク海軍ニ及ハサルヘシ又英國ハ四方

海岸ノ地ト雖氏天險ノ要害アルニ非ラス唯人力
 ヲ以テ防禦スヘキノ國ナリ往古北方ノ敵
 手軍艦ヲ以テ急ニ其海岸ヲ襲ヒシニ地方廣遠防
 禦ノ力足ラスシテ敗衄ヲ取タルナリ是レ全ク
 要害ノ頼ハヘキモノナキニ由テナリ故ニ方今ト
 雖氏英國ニ於テ海軍ノ武威ヲ失ハ、海岸ヲ防禦
 スル能ハサル一昔日ノ如クナルヘシ
 騎兵ノ士官五千八百七十人此内歩兵
 大鼓方九千二百九十九人
 人同警古士官並ニ士率一萬六千六百五十五人外
 二軍馬ノ數九千八百六十四足ト云フ

英國ニテハ兵卒ヲ擧ルニ定法ナシ人々ノ意ニ任
 七軍役ヲ好ムモノヲ取テ兵卒トナス其給料ハ仕
 役ノ年數ト職業ノ異同トニ由テ多寡アリ即チ親
 兵ノ騎士ハ一日ノ給料一「我ニ及前後以下各シルリング九「ペンス」乃
 至ニ「我ニ及余シルリング」尋常ノ騎兵ハ一「我ニ及余シルリング」四「ペ
 ン」親兵ノ歩卒ハ一「我ニ及余シルリング」二「ペンス」尋常ノ
 歩兵ハ一「我ニ及余シルリング」一「ペンス」ト定メリ然レモ無
 事ノ日屯所ニ居ル兵ハ食料ノ代トシテ六「ペンス」
 ヲ引キ又衣服諸具モ官府ヨリ與フレモ其代トシ
 テ給料ノ内ヲ引クカ故ニ兵卒ノ手ニ受取ル高ハ

甚タ少シ但戦争ニテ手痲ヲ蒙リタルモノ並ニ老
 年ニ及テ軍役ニ出ル「能ハサル者ニハ官府ヨリ
 扶助金ヲ與テ生涯ヲ終ラシム
 ○英國ノ海軍ハ往昔ヨリ熟練セル所ニテ國中第
 一ノ武備ナリ千七百零七年上院ノ議事官ヨリ女
 王「アンナ」ニ呈シタル上書中ニ云ク此國ヲ富強ニ
 為シテ榮名ヲ世ニ耀カス所以ハ海軍ヲ盛大ニシ
 テ貿易ヲ勉メ其守護ヲ為スニ由テナリ略中故ニ陸
 下海軍ヲ以テ國中第一ノ事務トシ專ラ之ニ注意
 シ給ハン「臣等」ノ深ク懇願スル所ナリト此時ニ

於テモ上院ノ議事官ハ國內ノ人心ヲ察シテ上書
シタルヲナレハ英人ノ海軍ニ意ヲ用ユルハ往昔
ヨリ今日ニ至ルマテ同様ナルヲ知ルヘシ
海軍ノ帆前ホヘアチ船蒸氣船ノ數之ニ備ル大砲ノ數並ニ
蒸氣機關ノ力ヲ馬ノ力ニ比例シタル數ヲ記ルス
「左ノ如シ但シ千八百五十年ノ書記ニ出ルモノ
ナリ

第一等ノ軍艦十九艘各大砲百二十挺百十九挺乃
至百十挺ヲ備ヘ砲數合テ二千二百十六挺
第二等第三等ノ軍艦七十六艘各大砲百四挺乃至

七十挺ヲ備ヘ砲數合テ六千百九十六挺

第四等第五等第六等ノ軍艦百二十六艘各大砲五
十五挺乃至十八挺ヲ備ヘ砲數合テ四千八百七十
三挺

「スル」ゴ哨船七十九艘各大砲十八挺乃至八挺ヲ備
ヘ砲數合テ九百八十六挺

「アリ」ダ船十六艘各大砲六挺乃至三挺ヲ備ヘ砲數
合テ七十八挺

蒸氣「フレガ」ト船二十二艘蒸氣力ノ總計一萬二千
二百二十二馬力大砲ノ數合テ二百八十一挺

蒸氣スル一ノ船四十二艘蒸氣力ノ總計一萬三千三百馬力大砲 數合テ二百五十一挺
 蒸氣コンボ一ノ煩手船三十八艘蒸氣力ノ總計六千七百四十八馬力大砲ノ數合テ百二十五挺
 蒸氣スクリ子ル船二艘蒸氣力ノ總計百二十馬力大砲ノ數合テ二十挺
 右ノ外番船ニ用ル第四等軍艦ノ蒸氣力總計三千八百馬力
 總計軍艦四百二十艘大砲二萬五千零二十六挺其内蒸氣船百十四艘蒸氣力合テ三萬六千八百八十馬

力但シ蒸氣飛脚船ハ此數ニ算入セス
 航海ノ士官水夫ニ萬九千五百人水戰ノ士官兵卒一萬三千五百人總計四萬三千人
 海軍ノ總督ヲコロト、バイ、アドミラルト云ヒ海軍局ノ全權ヲ執リ士官ヲ命レ其褒貶黜陟ヲ為シ軍艦隊ノ法則ヲ定ル等ノ事務一切之ヲ司ル但シ海軍ノ大法ハ議事院ヨリ出ルナリ
 海軍士官トナルモノハ初ノハ先ツ無役ニテ軍艦ニ乘リ次テ手傳士官トナリ手傳士官ノ職ヲ勤ムル一十六年ニレテ年十九歳ニ至レハ吟味試業ノ上ニテ

下等士官トナリ次第ニ等級ヲ進ムヘシ是等ノ進
 退ハ皆海軍局ノ評議ニテ定マルモノアリ又海軍
 ニ入ル前ニボールドマウス港ノ英國王海軍學校ニ教授
 ヲ受クルモノハ例外ノ等級ニ登ル可シ○水夫ハ
 人々ノ意ニ任セテ仕役スレモ事變アリテ人數不
 足スル片ニハ政府ノ威權ニテ強ヒテ海軍ノ水夫ヲ
 取ルヲモアリ爾後年々蒸氣船ノ數ヲ増レ千八百
 セテ七百餘艘六十三四年ニ至テハ大小ノ軍艦合
 ナリト云フ

錢貨出納

歐羅巴諸國ニテ英國ノ租稅最モ多ク十八百五十
我々改元年

四年ニ至テハ一歳ノ入稅ラビイ 我々一億九千九百三十万兩五千七百萬セントノ高
 ニ上レリ然レモ英國ハ他國ヨリモ稅歛シテ民ヲ
 苦レムルニ非ラス唯其稅法宜キヲ得テ國民皆之
 ニ堪ルニ由テ斯ク夥々オビトキ高ヲ收ルナリ他國ニ
 於テハ或ハ其稅法公平ナラサルヲモアレモ英國
 ニ於テハ然ラス貧富貴賤一樣ニ租稅ヲ收ルノ趣
 旨トセリ英人ノ活計ニ苦ム所以ハ租稅ノ苛酷ト
 ルニ非ラス衣食ノ高價ナルニ由テナリ然レモ衣
 食ノ高價ナルハ決シテ患フヘキニ非ラス却テ其
 國ノ幸ト云フヘシ其故ハ衣食高價ニシテ活計ニ

昔ノハ人民止ムヲ得スレテ工業ヲ勤メ隨テハ新
 發明ノ一モ有テ國益トナレハナリ○英國ニテ收
 税ノ大趣意ハ人生必用ノ品物並ニ製造物ノ内質
 素ナル粗品ニハ税ヲ輕ク奢修ニ屬スル品物並
 ニ人命ニ害アル品物ノ酒烟草ニハ税ヲ重クス蓋シ
 奢侈ニ由テ美品ヲ用ユル者ハ固ヨリ其高價ヲ拂
 ヒ得ヘキノ理アリ又不幸ニシテ有害ノ物ヲ服用
 スルノ癖アル者ハ其物ノ高價ナルニ由テ止ムヲ
 得ス自カラ服用ヲ禁スルヲアルヘキノ理ナリ○
 一歳ノ入税三分ノ二ハ諸港ト運上並ニ國內產物

此卷ハ時價ノ
 貴キモノヲ
 以テ算スル
 如クセテ欲
 原數ヲ三倍
 テ我邦ノ兩
 同ト知ベシ

ノ運上ヨリ收納ス千八百五十二年一歳出入ノ會
 計左ノ如レ
 歳入
 三千百十七萬七千五百十二「ボント」
 港運上
 六百七十五萬一千三百四十四「ボント」
 國內產物並ニ官許ノ運上
 六百九十二萬一千二百九十九「ボント」
 證印稅
 三百五十五萬九千六百七十二「ボント」

我嘉永五年

我一億九百五十二萬九千二百

我二千三百三十九萬七千

我二千四百五十四萬五千六百六十四

我一千三百五十八萬八千五百五十二

昔ノハ人民止ムヲ得スレテ工業ヲ勤メ隨テハ新
 發明ノ一モ有テ國益トナレハナリ○英國ニテ收
 稅ノ大趣意ハ人生必用ノ品物並ニ製造物ノ内質
 素ナル粗品ニハ稅ヲ輕ク奢修ニ屬スル品物並
 ニ人命ニ害アル品物ノ酒烟草ニハ稅ヲ重クス蓋シ
 奢侈ニ由テ美品ヲ用ユル者ハ固ヨリ其高價ヲ拂
 ヒ得ヘキノ理アリ又不幸ニシテ有害ノ物ヲ服用
 スルノ癖アル者ハ其物ノ高價ナルニ由テ止ムヲ
 得ス自カラ服用ヲ禁スルヲアルヘキノ理ナリ○
 一歲ノ入稅三分ノ二ハ諸港ト運上並ニ國內產物

此卷の時價ノ
 貴キ候ニ由
 以三兩ニ歩
 以算ス九例
 如クセシテ
 原數ヲ三倍
 テ我邦ノ兩
 同レト知ベシ

ノ運上ヨリ收納ス千八百五十二年一歲出入ノ會
 計左ノ如レ

歲入

三千百十七萬七千五百十二^{我二億九百五十二萬九千二百}ボント

港運上^{我二千三百五十九千七百}

六百七十五萬一千三百四十四^{ボント}

國內產物並ニ官許ノ運上

六百九十二萬一千二百九十九^{我二千四百五十二萬四千五百六十四}ボント

證印稅^{我一千三百五十八千八百五十二}

三百五十五萬九千六百七十二^{ボント}

地稅家稅等

五百六十五萬二千七百七十「ポント」
我千九百七十八万四千六百九十五兩

家產稅

二百四十四萬二千三百二十七「ポント」
我八百五十八万四千四百四十二兩

飛脚印

三十五萬八千二百六十五「ポント」
我百二十五万三千九百七十四兩

政府所有ノ上地山林ノ運上

八十九萬二千四百二十七「ポント」
我三百二十三万三千四百九十四兩

諸運上

總計五千七百七十五萬五千五百七十一「ポント」
我二千零二万四千四百九十八兩

百六十二年ノ會計ニハ歲入七千三百萬「ポント」余ニ上ルト云

歲出

二百六十三萬八千七百三十三「ポント」
我九百五十三万五千五百五十二兩

港運上並ニ國內ノ諸運上ヲ取立ル雜費

二千七百九十三萬四千五百三十三「ポント」
我九千七百六十六万零八百六十二兩

國債ノ利息及ヒ其元金ヲ返シタル高

百五十八萬四千六百六十七「ポント」
我五百五十三万六千五百六十四兩

文官定式ノ入用即チ王族ノ雜費政官ノ給料議

專院ノ入用等但レ國王自用ノ費ハ三十八萬「ポント」
我百五十三万兩

ノトナリ

二百十萬零四千百九十六ポンド 我七百三十二萬四千六百八十六兩

裁判局ノ入用

我算六萬五千四百五兩

三十三萬二千四百六ポンド

外國局ノ入用

我五千八百七十五萬五千四百六兩

一千六百十三萬五千九百五ポンド

兵備ノ入用但シ本高ノ内陸軍ノ入用七百零一

萬八千六百六十四ポンド 海軍ノ入用六百六十二

萬五千九百四十三ポンド 大砲隊ノ入用二百四

十九萬一千七百九十八ポンド

我四百九十九萬五千五百九十六兩

百三十四萬一千五百九十九ポンド

飛脚場ノ入用

我二千九百九十九萬九千六百八兩

七十三萬一千三百九十九ポンド

土工ノ入用

我二千五百三十三萬五千四百兩

七萬七千五百三十三ポンド

政府所有ノ土地山林ノ入用

我四百八十八萬五千兩

十二萬五千二百八ポンド

貿易場貸藏ノ入用

我七百八十八萬九千兩

二百二十二萬三千六百八十八ポンド

右ノ条々ニ載セサル諸雜費

我一億九千五百五十七萬五千兩

總計五千五百二十二萬九千三百六十七ポンド

附録

○英國ノ海外ニアル牙領ハ甚ク廣大ナリ其大概
 ヲ舉レハ北亞米利加北方ノ地即チカナダ西印度
 南北亞米利加ノ地喜望峰オーストラリア及ヒ東印度是
 ニアル地方ヲ云ナリナリ世上一般ノ説ニ英國ハ海外所領ノ地廣キカ
 故ニ本國ノ富饒ヲ致シ兵力強盛ナリト云フモノ
 多レト雖モ其説當ラサルニ似タリ亞米利加州
 發見シテ人ヲ移レ喜望峰ヲ廻テ東印度ト貿易ス
 ルニ至テ其利益ヲ得ルノ洪大ナルハ獨リ英國ノ
 ミニ非ラスエウロパ歐羅巴諸國皆同様ナリ海外ノ地ヲ開

招シテ其人民次第ニ文明ニ赴キ自カラ別政府ヲ
 建ツハキノ勢ニ至レルモノヲ尚其舊ニ依之ヲ
 屬地トナシ本國ヨリ支配スルト或ハ之ヲ免レテ
 獨立セシムルト何レ歟其本國ノ為ニ利益トナル
 ヘキ哉未タ其得失ヲ定メ難シト雖モ恐クハ其獨
 立ヲ許スノ方利益アルヘシ北亞米利加及ヒ西印
 度ニ所領ノ地アレモ今日ニ至ルマテ此領地ヨリ
 一錢ヲ收納シテ英國ノ費用ニ供シタルトナシ加
 之其土地ヲ守護スル為ニ多ク軍艦ヲ送り陸兵ヲ
 備ヘ其雜費ハ本國ヨリ出シテ領地ノ人民ハ却テ

之ヲ知ル_レナシ故ニ海外ニ所領ノ地アルトモ本
國ノ利益トスル所ハ唯之ト往來シテ貿易スルノ
一事ノミ然レモ海外ノ領地ト貿易スルハ外國ニ
行テ貿易スルニ異ナル_レナシ凡ソ他人ト貿易ス
ルニ於テ天然ノ理ニ從ヒ双方ノ利益トナルニ非
サレハ其本國ノ為筋ト云フ可ラス若シ天然ノ理
ニ從テ双方ノ利ヲ謀ル_分ル_ルハ所領ノ地ヲシテ獨立
國トナラシメハ其利愈大ナルヘシ其實證ヲ舉レ
ハ亞米利加合衆國ノ獨立シテヨリ以來英人常ニ
此國ニ往來シテ双方ノ交際益繁盛シ貿易ノ利愈

大ナリ又北亞米利加ノカナダハ英國有名ノ領地
ナレモ此領地ニ行テ貿易スルニ或ハ其土人ノ好
マサル所ヲ犯スニ由テ時々難事ヲ生スル_ナアリ
且此地ヨリ輸出スルモノ一品ニテモ他國ヨリモ
便利ニシテ價ノ廉ナルモノナシ海外ノ領地ト強
テ貿易スルトモ固ヨリ害有テ益ナク且獨立ヲ欲
フルモノヲ壓伏シテ屬地トナシ置カンニハ本國
ノ入費甚タ大ナリ方今英國ニテカナダノ地方ヲ
失ハサル所以ハ唯兵カヲ以テ其土人ヲ鎮靜スル
ニ由テナリ此大兵ヲ備フルノ費用一年百五十萬

利^リ止^トニ下^ラス然^ルニ其^ノ地^{ヨリ}得^ル所^ノ利^益ハ
 費^ツ所^ノ高^ク償^フニ足^ラス且^シ識^者ノ説^ニカ^ナダ^{地名}
 ハ早^ク晚^ク獨^立國^ト為^ル歟又^ハ亞^米利^加合^衆國^ノ版^ハ
 圖^ニ入^ルヘシト云^ヘリ○又^ハ西^印度^ノ領^地ニハ多^ク
 多^ク砂^糖ヲ產^シ之^ヲ英^國ニ輸^入シテ其^ノ運^上ノ高^ク甚^ク
 大^ナリト云^ヘルモノア^レヒカ^ナダ^ニモ茶^煙草^ヲ
 產^シテ之^ヲ英^國ニ輸^入シ運^上ヲ納^ルトハ西^印度
 ノ砂^糖ニ異^{ナル}トナ^シ且^シ西^印度^ニ砂^糖ヲ產^スト
 雖^モ其^ノ品^物ヲ輸^送スル者^ハ英^ノ商^人ナルカ故^ニ
 英^國政^府ハ其^ノ國^人ヨリ稅^ヲ取^ルナリ加之^ニ西^印度

諸^ノ島^ノ砂^糖ハ^キ西^印度^ニア^ル領^地南^亞米^利加^中
 ノ獨^立國^{ヨリ}輸^入スルモノニ比^スレハ其^ノ價^却テ高^キ
 カ故^ニ此^ノ砂^糖ヲ用^ユルハ本^國ノ損^失ト云^フヘシ
 ○右^ノ次^第ニ付^キ英^國ノ盛^大ナルハ其^ノ領^地ノ廣^ク
 キ故^ナリト思^フハ大^{ナル}誤^解ナリ海^外ノ領^地ニ
 行^テ貿^易スルハ他^ノ獨^立國^ト貿^易スルノ便^利ナ
 ルニ如^カス且^シ所^ノ領^ノ地^ハ世^界中^ノ諸^處ニ散^在シテ
 本^國ヨリノ距^離甚^タ遠^キカ故^ニ戰^争ノ片^ハ敵^兵
 ノ襲^撃ヲ受^ケ易^ク之^ヲ守^護スルニハ多^ク少^クノ工^夫
 ヲ費^シ軍^用ヲ失^ハサル可^ラス反^シ覆^熟考^スレハ海

外ノ所領ハ本國ノ勢ヲ弱クスルモノト云テ可ナ
 リ英國ノ富強文明ニシテ他ニ擢スツル所以ユヘレハ其地
 理ノ便利ニシテ產物ノ多キト人才ノ多クシテ政
 治ノ公正ナルトニ由テナリ既ニ地理ノ辨ヲ得又
 政治ノ公正ナルアラハ海外ノ領地ヲ失フト雖モ
 毫モ患ウフルニ足ラサルナリ○東印度ノ地方ハ他
 ノ領地ト異ナリ屬國ダノ如キモノニテ時々英國へ
 貢稅ヲ納ルトアリ然レモ此貢稅モ世人ノ思フ如
 ク莫太ノ高ニハ非ラス之ヲ年々平均スレハ些シヤ細
 ノモノナリ○マルタ島地中海ニ在リシブラルタル地中海

岸ノ北ノ如キハ軍艦商船ヲ寄セ戦争ノ片ハ兵糧ヲ
 貯たくわへ武器ヲ置おキ此地ヨリ兵ヲ出シテ敵國ニ向フ
 可キカ故ニ緊要ノ領地ト云フヘシ
 海外ノ地ヲ領レテ本國ノ利益トナル所ハ過多ノ
 人民ヲ其地ニ移うつレ人々ヲシテ天稟ノ才カラ伸ヘ
 產業サダメヲ營イムヲ得いシムルニアルナリ毎年英國ヨ
 リ海外ノ地へ移住イセウスルモノ甚タ夥おほクシ殊トニ亞米
 利加合衆國ハ元ト英國ノ領地ニテ言語同ク道程
 近ク氣候平和ニ且其國ニ移うつテ土地ヲ得ルト容易
 ナルカ故ニ英人ノコ、ニ居キヲ移スモノ最モ多シ

千八百^{我文政八年}二十五年ヨリ千八百^{嘉永二年}四十九年ニ至ルマテ

二十五年ノ間ニ英人ノ海外ニ移住シタル者ノ數

左ノ如シ

北亞米利加ニ在ル英國^{當トシ}所領ノ地ヘ移^カリタルモノ

八十萬零八千七百四十人

亞米利加合衆國ヘ移リタルモノ

百二十六萬零二百四十七人

澳^{オーストラリア}大利亞ヘ移リタルモノ

十八萬五千三百八十六人

右ノ外諸方ニ在ル英領ヘ移リタルモノ

三萬零八百十一人

總計英國ヨリ出タルモノニ百二十八萬五千百八十四人ナリ

西洋事情卷之三 終

